

26年度東成区運営方針自己評価シート

1 自己評価結果の総括

(1) 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

平成26年度については、自律的な地域社会の実現と、生きがいを感じ、安全・安心でいきいきとしたまちをめざし、「地域力」「安全・安心（防災）」「安全・安心（防犯）」「子育て」「教育」「保健」「地域福祉」「区役所力の強化」の8つを経営課題として取り組んだ結果、概ね順調に進捗したと考えている。

- ・防犯対策については、子どもたちが防犯意識の大切さを学ぶ防犯教室や「安全安心ミニフェスタ」を開催し、子ども自身の防犯能力を高める取り組みを行った。また、全市で開始された街頭犯罪抑止チームの夜間巡回において、区独自にLED点灯式ベストの着用を導入し、効果をあげたところである。
- ・子育て支援については、地域で子育てを支える方々と保護者とのつながりを支援するため「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の運用を進めるとともに、地域子育てサークル合同イベント等を拡充して開催し、好評であった。今後つながりを深めるために地元商店街等との連携によりカードの利便性の向上やイベントの充実を図る。
- ・地域福祉については、各小学校下に地域福祉活動サポーターを配置して、「おまもりネット事業」などの地域福祉活動を支援した。また、多様なニーズに応えるため有償ボランティア活動の仕組みの構築に取り組んだ。さらに、保健福祉課題を話し合う「専門分野別実務者会議」の開催や「ライフライン等の関連事業者と連携して高齢者・障がい者等の見守り」を継続実施した。引き続きセーフティネットの充実を図っていく。
- ・区民への情報発信については、地域への取材を積極的に行い地域情報を充実させるなど、わかりやすく魅力的な区政情報の発信に取り組んだ。また、広報紙の配布方法については、区政会議における区民委員の意見も取り入れ、来年度から全戸配布を導入するなど情報発信の強化に努める。

(2) 解決すべき課題と今後の改善方向

- ・区民主体のまちづくりの仕組みの構築については、区内全ての地域活動協議会への補助金交付、6地域への地域活動の初期プロモート事業助成、中間支援組織による支援などを実施し、開かれた組織運営と会計の透明化の確保への取り組みが着実に進められている。しかし、こうした地域の情報をより多くの区民に届けるため、地域の情報発信力を向上するための支援を強化するとともに、区役所としても一層積極的に情報発信を行っていく。